

平成29年度

# 事業報告書

社会福祉法人たちばな会

指定障害福祉サービス事業所たちばな授産所

指定障害福祉サービス事業所サンステップ

指定障害福祉サービス事業所すだち

# 目 次

I. 社会福祉法人たちばな会事業報告	3
1. 評議員会	3
2. 理事会	3
3. 事業	4
II. 指定障害福祉サービス（多機能型）事業所たちばな授産所事業報告	5
1. 概況	5
2. 生活支援	5
3. 作業活動	7
4. 体育実施状況	10
5. 保健衛生	10
6. 交通安全指導	13
7. 災害防止対策	14
8. 家庭との連携	15
9. 地域交流	15
10. 各種会議	16
11. 職員研修	17
12. 利用者の状況	18
III. 指定障害福祉サービス（多機能型）事業所サンステップ事業報告	20
1. 概況	20
2. 生活支援	20
3. 作業活動	22
4. 体育実施状況	25
5. 保健衛生指導	25
6. 交通安全指導	27
7. 災害防止対策	28
8. 家庭との連携	29
9. 地域交流	29
10. 各種会議	30
11. 職員研修	31
12. 利用者の状況	32
13. 就労移行支援実施状況	33
IV. 指定障害福祉サービス事業所すだち事業報告	34
1. 共同生活住居「いぶき」	34
2. 共同生活住居「すだち」	35
V. 社会福祉法人たちばな会事業報告の附属明細書	36

## I. 社会福祉法人たちばな会事業報告

社会福祉法人たちばな会定款に基づき、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ地域における自立した日常生活を営むことができる様、多様且つ適正な障害福祉サービスの提供に努めた。

### 1. 評議員会

定時 平成29年6月23日（金） 於：サンステップ地域交流スペース

#### (1) 決議事項

第1号議案 平成28年度社会福祉法人たちばな会決算報告（案）について  
監事監査報告

第2号議案 社会福祉充実計画について

第3号議案 社会福祉法人たちばな会の役員の選任について

#### (2) 報告事項

H.28 事業報告の報告、理事長専決事項の報告、役員損害賠償保険への加入について、たちばな会後援会の税額控除について、GHすだちの整備について、その他

### 2. 理事会

定例

第1回 平成29年6月5日（月） 於：サンステップ地域交流スペース

#### (1) 決議事項

第1号議案 平成28年度社会福祉法人たちばな会事業報告（案）について

第2号議案 平成28年度社会福祉法人たちばな会決算報告（案）について  
監事監査報告

第3号議案 社会福祉充実残額について

第4号議案 平成29年度定時評議員会の開催について

#### (2) 報告事項

理事長専決事項の報告、役員損害賠償保険への加入について、たちばな会後援会の税額控除について、GHすだちの整備について、その他

第2回 平成29年10月30日（月） 於：サンステップ地域交流スペース

#### (1) 決議事項

第1号議案 平成29年度事業中間報告（案）について

第2号議案 平成29年度会計中間報告（案）について

第3号議案 平成29年度会計第1次補正収支予算（案）について

第4号議案 社会福祉法人たちばな会経理規程の一部改正（案）について

#### (2) 報告事項

理事長専決事項の報告、たちばな授産所の借地について、今年度の施設整備について、来年度の事業計画について、その他

第3回 平成30年3月20日（火） 於：サンステップ地域交流スペース

#### (1) 決議事項

第1号議案 平成29年度事業中間報告（案）について

第2号議案 平成29年度会計中間報告（案）について

第3号議案 平成29年度会計第2次補正収支予算（案）について

第4号議案 社会福祉法人たちばな会職員給与規程の一部改正（案）について

第5号議案 社会福祉法人たちばな会有期雇用職員給与規程の一部改正（案）について

第6号議案 社会福祉法人たちばな会指定障害福祉サービス事業所サンステップ運営規程の一部改正（案）について

第7号議案 平成30年度事業計画（案）について

第8号議案 平成30年度社会福祉法人たちばな会当初予算（案）について

(2) 報告事項

理事長専決事項の報告、たちばな会慶弔規程（内規）について、サンステップ実地指導の結果、その他

臨時

第1回 平成29年4月1日（土） 於：サンステップ地域交流スペース

(1) 決議事項

第1号議案 社会福祉法人たちばな会 理事長の選定について

第2回 平成29年6月23日（金） 於：サンステップ地域交流スペース

(1) 決議事項

第1号議案 社会福祉法人たちばな会 理事長の選定について

3. 事業

第2種社会福祉事業

- ・指定障害福祉サービス事業所（多機能型）たちばな授産所の運営
- ・指定障害福祉サービス事業所（多機能型）サンステップの運営
- ・指定障害福祉サービス事業所すだちの運営
  - 共同生活住居「いぶき」
  - 共同生活住居「すだち」

## II. 指定障害福祉サービス(多機能型)事業所たちばな授産所事業報告

### 1. 概況

多機能型事業所として生活介護事業及び就労継続支援B型事業を実施した。

各事業の利用状況は、新たに利用する人はいなかったが、生活介護で10月に1人が退所し20人に、就労継続支援B型で3月末に1人が退所し21人の利用になったので全体では41人が在籍している。2月下旬から3月上旬にかけてインフルエンザに罹る利用者が例年に比べて多かったが、それ以外は概ね健康的な生活を送っていて、両事業合わせた年間の出席率は95.4%であった。

生産活動は順調に推移し、自動車及び農機・建機用電装部品の組立が8,933千円(昨年比+14%)、段ボールの組立が3,021千円(〃+16%)、優先調達推進法による官公需が中心の除草作業が7,221千円(〃+28%)等いずれの分野においても大幅な伸びがあり、全体の作業収入は21,910千円となった。この結果、利用者に支給した賞与を含む工賃の平均支給額は、生活介護で月額1人当たり13,683円、就労継続支援B型で同25,958円を支給し、昨年と比べ増額することができた。

施設設備の面では、除草作業用の機材を保管する物置を新たに設置し、傷みの目立つ生産活動に係る材料保管用の物置を更新して作業環境を整えた。

### 2. 生活支援

作業班を中心として担当制を設け、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を実施した。所生会活動を通して自主性と協調性を培い、各種の行事を通して集団生活のルールを学び、社会適応能力を高めた。

#### (1) 所生会活動

所生会は毎月末の水曜日に行い、月毎に、司会・出席・衛生・ごみ・黒板・所旗・戸締まり・花壇の水やり・炊事・トイレのスリッパを揃える・誕生会のプレゼント・お祝いの言葉等の各係について、利用者の希望をとって分担を決め、積極的に取り組んだ。また、行事等の希望や参加について意見交換をした。

月	活 動 内 容
4	今年度の所生会活動についての話し合い
5	係活動の反省と行事の内容確認
6	係活動の反省と行事の内容確認
7	納涼祭でカラオケに参加する人を希望者の中から選出
8	係活動の反省と行事の内容確認
9	係活動の反省と行事の内容、慰安旅行について確認
10	係活動の反省と行事の内容確認
11	係活動の反省と行事の内容確認
12	係活動の反省と行事の内容確認
1	係活動の反省と行事の内容確認
2	係活動の反省と行事の内容確認
3	一年間の反省と来年度の所生会についての話し合い

(2) 実施行事

次のとおり、利用者のレクリエーションを中心に行事を実施した。各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし社会性の向上に努めた。

実施日	行事	場所	参加者	内容
4月3日	開所記念式	サンステップ 地域交流スペース	利用者 43人	二橋理事長の祝辞、前年度皆勤・精勤者の表彰をした。
4月7日	レクリエーション講座①お花見	法多山・エコパ スタジアム見学	利用者 41人	エコパスタジアムを見学し、法多山で散策しながら桜と買い物を楽しんだ。
5月2日	ハイキング	愛知県民の森	利用者 42人	グループごとにコースを決めて森林浴を楽しんだ。
5月27日	レクリエーション講座②大道芸	たちばな授産所	利用者 37人	大道芸人「きぼう」さんを招いて、楽しい時間を持った。
6月9日	レクリエーション講座③ 障害者スポーツ	天竜体育館	利用者 43人	静岡県障がい者スポーツ協会のスポーツ巡回指導を利用してフライングディスクやボッチャを楽しんだ。
6月13日	ふれあいコンサート	なゆた浜北 なゆたホール	利用者 42人 保護者 21人	浜北ライオンズクラブ様主催のコンサートに参加、リズムダンスを披露。
6月30日	浜北合同スポーツ交流会	浜北グリーンアリーナ	利用者 38人 保護者 14人	浜北区内の7施設の交流の場、協調性を養う場とし積極的に取り組んだ。
7月7日	七夕会	たちばな授産所	利用者 40人	願い事を書いた短冊や七夕飾りを笹につけて飾った。
7月14日	レクリエーション講座④ ミニコンサート	サンステップ 地域交流スペース	利用者 40人	美菌フレンドリーコーラスの方々による「ミニコンサート」を楽しんだ。
7月29日	納涼祭	たちばな授産所	利用者 38人 来賓外 39人 保護者 35人	地域との交流行事。カラオケ、踊り、模擬店、ライブ演奏等に来賓や近隣の人等が大勢参加して盛大に実施。
9月1日	総合防災訓練	たちばな授産所	利用者 41人	警戒宣言発令を想定し、連絡網による情報伝達訓練を実施した。
9月23日	鉄板焼き大会	日本ロック本社	利用者 38人 保護者 22人	日本ロック様の招待行事に招かれた。
9月28～ 29日	慰安旅行	熱海・小田原・ 箱根方面	利用者 35人 保護者 16人	三島スカイウォーク、酪農王国オラッチェを回り熱海泊、翌日、来宮神社、小田原城を見学し、箱根湯本で買い物を楽しんだ。
10月13日	レクリエーション講座⑤ 笑いヨガ	サンステップ 地域交流スペース	利用者 42人	平野邦彦氏を講師に招いて、笑いヨガを楽しんだ。
11月12日	ふれあい広場	浜北グリーンアリーナ	利用者 39人 保護者 23人	保護者の協力を得て物品の販売を行った。
11月24日	レクリエーション講座⑥ 紅葉狩り	愛知県民の森	利用者 40人	愛知県民の森で紅葉を鑑賞し、「もつくる新城」で買い物を楽しんだ。
12月12日	一日施設長 地域奉仕作業	たちばな授産所	利用者 40人	浜松市社会福祉協会浜北地区センター長土田雅弘氏に一日施設長をお願いし、施設周辺の環境整備を行った。
12月15日	もちつき大会	たちばな授産所	利用者 41人 保護者 25人	サンステップとの合同行事。利用者が餅つきを体験し、保護者と共につきたての餅と豚汁を味わった。
12月22日	クリスマス会	たちばな授産所	利用者 41人	クリスマスツリーを作り、手作りの昼食を食べて楽しい時間を過ごした。

12月28日	慰労会	たちばな授産所	利用者 39人	1年間の労をねぎらい、ゲームを楽しんだ後に昼食をとった。
1月5日	新年会	たちばな授産所	利用者 40人	仕事始めの式 作業後の昼食は各自が選んだお祝い弁当をいただいた。
1月8日	成人の祝い	たちばな授産所	利用者 38人	新成人2名のお祝いをした。
1月11日	鏡開き	たちばな授産所	利用者 37人	お雑煮をいただいた。
2月2日	豆まき会	たちばな授産所	利用者 39人	簡単なゲームを行った後、年男・年女の利用者に豆まきをしてもらい、一年の邪気払いと無病息災を祈った。
3月9日	イチゴ狩り	ブラウンルー	利用者 39人	たこ満小笠工場を見学して買い物を楽しみ、昼食後に東区のイチゴ農園『ブラウンルー』にてイチゴを堪能した。

### 3. 作業活動

協力企業から受託した作業を生活介護、就労継続支援B型の作業班で分担、生産した。

各班とも取引業者との信頼関係の強化に努め、治工具の改良考案、作業方法の改善、作業室の整備等によって生産性の向上も図りつつ、各事業の特色を出せるように配慮した。

生活介護班では、作業を簡単な工程に分け利用者を各自の特性や相性を考えて作業室、場所を配置することで、利用者が落ち着いて過ごせるようにした。また、作業時間を短くし余暇支援を取り入れ、メリハリの利いた日常生活を送れるように支援した。

就労継続支援B型班は、福祉的就労の場として5Sに取り組み、工賃アップを目指し、農機具や建機の部品組み立ての他にもダンボールの組立て作業や障害者優先調達推進法による官公需の積極的な受注に努めた。

なお、障害者優先調達推進法による草刈作業については、静岡県社会福祉協議会主催の「神谷基金障がい者自立支援活動奨励事業」において最優秀賞を受賞することができた。

#### (1) 作業分担と作業種目

品質を確保するために、担当する職員・利用者の異動をできるだけ少なくして作業班体制を組んだ。また、優先調達推進法による除草作業やダンボールの組立作業は班の枠を超えた取り組みを行った。

##### ア、生活介護

生産高 (単位：円)

班	利用者数	作業種目	(月平均)
D	20	ミラーマット、ビニールシートの分別	22,263
E		就労継続B型の前工程、ターミナル入れ	134,992
F		ダンボールの組立、パッキン入れ	296,805
G		紙漉き、クッキー、トイレトペーパーの販売等	72,013

##### イ、就労継続支援B

生産高 (単位：円)

班	利用者数	作業種目	(月平均)
A	5	自動車エアコンスイッチ組立	123,498
B	5	ルームランプの組立他	223,809
C	4	自動車エアコンスイッチ組立	99,551
H	4	配電盤端子組立他	57,196
I	4	オイルゲージ組立、農機具シーソースイッチ組立他	105,548
ABCHI	15	除草作業、印刷他、ダンボールの組立他	693,362

## (2) 生産活動業者別収入状況

## ア、生活介護

(単位：円)

月	日本ロック	山 宗	ジェイレックス	紙漉き	クッキー他	合 計
4	203,896	21,600	172,169	8,686	38,250	444,601
5	140,398	22,950	148,523	9,700	57,288	378,859
6	196,380	23,400	225,961	13,200	70,340	529,281
7	185,359	23,400	217,124	0	136,062	561,945
8	156,469	10,800	253,769	3,000	69,112	493,150
9	96,134	34,650	276,771	3,600	112,362	523,517
10	111,136	20,100	255,577	5,700	52,650	445,163
11	109,382	19,350	336,943	92,004	87,090	644,769
12	105,687	22,500	401,421	23,100	76,012	628,720
1	89,770	21,600	217,557	8,800	167,362	505,089
2	93,798	21,600	250,173	3,900	66,950	436,421
3	131,501	24,552	265,831	129,613	169,212	720,709
合計	1,619,910	266,502	3,021,819	301,303	1,102,690	6,312,224

## イ、就労継続支援B

(単位：円)

月	日本ロック	除草作業	その他	印刷	合 計
4	631,470	6,480		63,936	701,886
5	555,223	201,780		1,512	758,515
6	655,844	79,569		15,876	751,289
7	704,800	0	58,806	5,400	769,006
8	537,595	125,787		13,284	676,666
9	542,469	0		20,347	562,816
10	720,433	462,052	68,850	447,876	1,699,211
11	637,090	781,176		73,529	1,491,795
12	572,472	1,113,853		105,773	1,792,098
1	570,996	3,852,918		12,206	4,436,120
2	576,064	36,830		88,160	701,054
3	610,463	561,124		86,122	1,257,709
合計	7,314,919	7,221,569	127,656	934,021	15,598,165



## (3) 月別作業収入と工賃支給状況

## ア. 生活介護

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	444,601	231,000	13,880	7,840	11,000	21	78.9
	5	378,859	231,000	13,960	8,160	11,000	21	75.7
	6	529,281	231,000	13,340	8,010	11,000	22	77.5
	7	561,945	231,000	14,420	6,000	11,000	22	81.0
	8	493,150	231,000	14,190	6,000	11,000	20	79.6
	9	523,517	231,000	13,580	6,000	11,000	22	73.5
	10	445,163	220,000	13,580	6,000	11,000	22	83.8
	11	644,769	220,000	14,020	7,830	11,000	22	75.6
	12	628,720	220,000	13,750	7,770	11,000	20	71.4
	1	505,089	220,000	13,580	7,770	11,000	20	74.0
	2	436,421	220,000	14,120	8,200	11,000	20	71.4
	3	720,709	220,000	13,830	7,360	11,000	22	83.6
	小計	6,312,224	2,706,000				254	926.0
	8		賞与 210,000	13,900	8,000	10,000		
	12		賞与 200,000	14,000	1,300	10,000		
	3		一時金 244,000	17,300	8,200	12,200		
	小計		654,000					
合 計		6,312,224	3,360,000			164,200	254	926.0

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は164,200円、月額割では平均13,683円であった。

## イ. 就労継続支援B型

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	701,886	462,010	26,330	13,300	21,000	21	88.0
	5	758,515	462,010	26,030	13,050	21,000	21	89.3
	6	751,289	462,000	25,950	12,730	21,000	22	93.1
	7	769,006	462,000	26,450	13,200	21,000	22	90.9
	8	676,666	506,010	29,860	10,620	23,000	20	90.4
	9	562,816	506,000	29,170	12,230	23,000	22	90.0
	10	1,699,211	506,000	29,190	13,840	23,000	22	100.1
	11	1,491,795	506,000	28,990	13,860	23,000	22	94.7
	12	1,792,098	550,000	32,620	14,300	25,000	20	82.1
	1	4,436,120	550,000	32,450	14,200	25,000	20	90.3
	2	701,054	572,000	34,210	13,350	26,000	20	85.6
	3	1,257,709	572,000	34,070	11,940	26,000	22	97.1
	小計	15,598,165	6,116,030				254	1091.6
	8		賞与 220,000	14,300	2,600	10,000		
	12		賞与 220,000	14,500	2,400	10,000		
	3		一時金 297,000	19,300	3,300	13,500		
	小計		737,000					
合 計		15,598,165	6,853,030			311,500	254	1091.6

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は311,500円、月額割では平均25,958円であった。

## (4) 就労支援会計収支状況

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
1. 利用者工賃等配分額	10,213,030	1. 就労支援事業収入	21,910,389
(1)利用者工賃	8,822,030	(1)受託収入	12,223,150
(2)利用者賞与	1,391,000	(2)印刷収入	934,021
		(3)紙すき収入	301,303
2. 必要経費	11,697,091	(4)その他事業収入	8,451,915
3. 積立金積立	0		
(1)設備等整備積立金	0		
(2)工賃変動積立預金	0		
4. 次年度繰越金	268		
合 計	21,910,389	合 計	21,910,389

## (5) 配分率、経費率及び繰越率

(単位：円、%)

総収入	利用者工賃等配分額	必要経費	次年度繰越金	配分率	経費率
21,910,389	10,213,030	11,697,091	268	46.61	53.39

## 4. 体育実施状況

利用者の健康な生活を維持し、体力の維持と強化のために朝礼終了時の体操や、作業中のストレッチ、定時のジョギング及び体育的行事（野外スポーツ）を実施した。

## (1) 体力作りとストレッチ

項 目	日 時	内 容
ラジオ体操	8:40～8:45 (毎朝)	ラジオ体操第一を始業前の準備運動を兼ねて全員で行った。
ストレッチ (業間体操)	10:25～10:30 (毎日)	それぞれの作業の持ち場で作業の間の体操として手・足・首・腰・胴を中心にしたストレッチを実施した。
体 操	14:15～15:00(生) 15:15～15:45(B) (月～金)	生活介護の利用者と継続支援B型の利用者に分かれ、それぞれの心身の状況に合わせた体力づくり（ジョギングや歩行訓練）を実施した。また、雨天時は訓練棟でストレッチやリズムダンスを行った。

## (2) 体育的行事

項 目	日 時	内 容
野外スポーツ	13:00～15:30	マイクロバスで森林公園まで移動し体力別に3班に分けウォーキングや散策を実施した。4,6,7,10,11,2,3月の全7回実施し、天候不順等で2回中止した。

## (3) 生活介護支援

項 目	日 時	内 容
スペースタイム	15:15～15:45 (月～金)	生活介護事業では、壁紙制作・レクリエーション・リズムダンス・塗り絵などを行い、利用者の心身の安定を図るための時間としてスペースタイムを実施した。

## 5. 保健衛生

## (1) 健康管理

毎月、身長・体重・血圧・体脂肪の測定を実施して日常の健康管理の目安とし、昼食後の歯磨き、作業後のうがい・手洗いを毎日の習慣とした。

定期健康診断は春に血液・尿検査、秋にX線・尿検査を実施し、嘱託医による内科検診を年3回行い、歯の健康センターによる歯科健康診査を1回実施した。保護者には健診結果を通知し、結果に異常のあった利用者には、掛かりつけの医師による再診を助言した。

看護師によるナース便りの発行により利用者・保護者へ健康管理や感染症予防等の啓発に努めた。

#### ア、健診実施状況

区 分	実施日	人数	内 容
血液検査	4月26日	42人	貧血、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸
尿検査	4月26日	42人	蛋白、糖、潜血
	10月5日	42人	
X線検査	9月19日	42人	胸部X線間接撮影
嘱託医による内科検診	4月19日	40人	問診、聴打診、血圧
	8月23日	39人	
	12月13日	42人	
歯科健診	10月20日	41人	浜松市による施設歯科健康診査

#### イ、健康診断結果（重複あり、単位：人）

区 分	男	女	計
血球計数	5	1	6
糖代謝	1	0	1
肝機能検査	9	3	12
脂質代謝	7	4	11
腎機能	4	1	5
尿定性検査	1	0	1
計	27	9	36

#### ウ、ブラッシング指導実施状況

実施日	人 数	内 容
2月5日	利用者15人 保護者10人	愛護協会TBI記録表のチェックとブラッシング指導
2月16日	利用者15人 保護者16人	愛護協会TBI記録表のチェックとブラッシング指導
2月22日	利用者12人 保護者9人	愛護協会TBI記録表のチェックとブラッシング指導

#### (2) 衛生指導

利用者、職員全員で、毎日終業前の15分間で所内全般の清掃を実施し、衛生的な環境保持に努めた。また、作業後やトイレ使用后及び給食前に手洗いを励行し、毎日の習慣とするよう心掛けた。

#### (3) 感染症予防

##### ア、インフルエンザ対策の実施

インフルエンザ対策として、登所時の手・指の消毒と検温を実施した。

希望する利用者へ予防接種を行った。

##### イ、ノロウイルス等の感染症予防対策の実施

支援部会で、感染の仕組みや手洗いの手順等具体的な処置方法の確認と応急処理キットの使い方と場所の確認をした。

## (4) ナース便りの発行

実施日	内 容
5月26日	生活習慣病について
6月14日	梅雨の時期のカビ対策について
8月10日	水分補給の仕方について
9月15日	秋の健康診断について
9月22日	歯科健康診査・歯科保健指導の実施について 歯科健診事前アンケート
10月24日	正しいブラッシングのやり方
11月29日	温活のススメ（風邪予防のポイント）
12月22日	風邪予防のポイント
12月22日	風邪とインフルエンザの違いについて
1月30日	体調管理のお願い・インフルエンザについて
2月27日	肌のかゆみ対策
3月13日	口腔ケアについて

## (5) 出欠状況

出欠状況は利用者の心身の状況のバロメーターであり、データをとりながら家庭と協力して出席率を高めるよう努めた。

## ア、月別出欠状況

## 【生活介護】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延べ日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	21	21	441	11	430	97.51
5	21	21	441	9	432	97.96
6	21	22	462	23	439	95.02
7	21	22	462	36	426	92.21
8	21	20	420	25	395	94.05
9	21	22	462	49	413	89.39
10	21	22	447	36	411	91.95
11	20	22	440	20	420	95.45
12	20	20	400	14	386	96.50
1	20	20	400	30	370	92.50
2	20	20	400	44	356	89.00
3	20	22	440	14	426	96.82
計	247	254	5,215	311	4,904	94.05

(注)10月は中途退所者により出席日数に計算上の差異がある

## 【就労継続支援B型】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延べ日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	22	21	462	11	451	97.62
5	22	21	462	6	456	98.70
6	22	22	484	7	477	98.55
7	22	22	484	26	458	94.63
8	22	20	440	24	416	94.55
9	22	22	484	13	471	97.31
10	22	22	484	10	474	97.93
11	22	22	484	7	477	98.55
12	22	20	440	14	426	96.82
1	22	20	440	12	428	97.27
2	22	20	440	35	405	92.05
3	22	22	484	24	460	95.04
計	264	254	5,588	189	5,399	96.62

イ、月別皆勤者の状況

2月、3月にインフルエンザによる欠席あり。年間を通じての精勤者（欠席、遅刻、早退合わせて3回以内）は男子7人、女子2人の計9人であった。

【生活介護】

(単位：人、%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率
4	21	13	61.90	10	21	14	66.67
5	21	13	61.90	11	20	12	60.00
6	21	15	71.43	12	20	15	75.00
7	21	16	76.19	1	20	12	60.00
8	21	18	85.71	2	20	8	40.00
9	21	10	47.62	3	20	16	80.00
				平均	20.58	13.5	65.54

【就労継続支援B】

(単位：人、%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率
4	22	18	81.82	10	22	20	90.91
5	22	18	81.82	11	22	17	77.27
6	22	19	86.36	12	22	17	77.27
7	22	16	72.73	1	22	17	77.27
8	22	17	77.27	2	22	10	45.45
9	22	17	77.27	3	22	17	77.27
				平均	22	16.92	76.89

6. 交通安全指導

年間3回の実施をすべて外部機関への依頼によって実施した。そのうち1回は佐川急便株式会社が実施する「佐川急便交通安全教室」を初めて開催した。その他の内容については昨年度も実施したものであったが、各回とも年間で複数回実施している実績ある交通安全教室なので、利用者に対して質の高い指導を提供できた。

実施日	指導者	内容
5月1日	佐川急便 交通安全指導 担当社員	佐川急便株式会社が社会貢献活動の一環として実施する「佐川急便交通安全教室」を開催した。実際に使用されている配送トラックを使用しての死角確認や横断訓練を行った。佐川急便のキャラクターも登場し、利用者の反応も非常に良かった。
8月11日	ユーコープ 交通安全指導 担当社員	昨年度に引き続き、生活協同組合ユーコープによる「おうちCO-OP交通安全教室」を開催した。内容的には実際の配送トラックを使用した死角確認と、チャイルドシートを使用してのシートベルト着用の必要性を解説するものであった。
12月27日	交通安全指導員 警察官	交通安全指導員と警察官を招き、スライドを使用して施設周辺の道路歩行・横断、信号機の見方等の基本を確認した。また、警察官から実際に事故にあったときの対応についての講話を昨年に引き続きしていただいた。

## 7. 災害防止対策

火災と地震の訓練を主に、3月には大雨や洪水等非常災害の発生を想定した防災訓練を実施した。地域防災訓練は家族での参加を呼びかけて防災指導に努めた。また、日ごろから防災設備の自主点検を実施し、防災組織、緊急連絡網の確認を行い、連絡網を使った連絡訓練も随時実施した。月別の防災訓練の実施状況は次表のとおりである。

### 【防災訓練実施状況】

実施日	訓練種目	災害発生の想定及び対応						
		参加人数	時刻	火点	状況	避難経路・手順等	留意点	
4月24日	火災通報	利用者 職員 その他	14	17:10		利用者帰宅後、各職員の受け持ち部所より出火したことを想定し、「火災発生」の発声及び所長への報告通報訓練を実施した 一斉放送による避難誘導の指示の確認と消火班の行動を確認した		
5月29日	地震避難	利用者 職員 その他	42 15 1	10:00		作業時間中に地震発生 身近な机や作業台の下に身を隠した。揺れが収まってから外へ避難した	落下物を意識して作業台等の下に身を伏せる 効果音が練っている間は動かない	
6月26日	火災避難 消火	利用者 職員 その他	39 14 2	11:00	第1作業室	作業中に半田ごてが倒れてアルコールに引火。 水消火器による消火訓練を行った	火災発生を大きな声で知らせ、火点から離れた非常口から避難する 職員の避難指示が的確か 避難経路の確認 消火器の使い方の確認	
7月19日	地震避難	利用者 職員 その他	37 13 1	13:10		作業時間中に地震発生 身近な机や作業台の下に身を隠し、揺れが収まってから指示に従って避難	落下物や転倒危険箇所のチェックをおこなう 歩行困難者の介助	
8月28日	火災避難 消火	職員 寮生 保護者	17 9 0	20:00	[すだち] [いぶき]	ガス漏れにより出火 寮生を各部屋より避難させた。火災発生の連絡は職員連絡網を使って行い、関係職員を招集した。	避難経路の確認。 職員連絡網の確認と通報・連絡の確認。消火器の使い方の確認	
9月1日	総合防災訓練	利用者 職員 その他	41 15 37	8:50		予知情報のない突発的な大規模地震発生 警戒宣言発令時情報伝達訓練と保護者引渡し訓練を実施した。防災の話、億級手当について話す	保護者会連絡網を使って被害状況報告書を浜北区へ送った 保護者連絡網の確認	
10月27日	火災消火 避難	利用者 職員 その他	39 14 1	8:55	就労作業棟	ライターの火が紙に引火し出火 発煙筒使用	火点から離れた非常口より避難した 電源が切られたか、窓が鍵を掛けずに閉められたかを確認	
11月1日	地震 火災通報 避難	利用者 職員 その他	39 15 1	9:00	厨房	作業時間中に地震が発生し、厨房より出火	安全な場所に身を伏し地震の収まるのを待って落下物に注意し、非常口から避難 119番通報は太田支援員が行った	社会福祉施設防災訓練として実施 避難経路の確立 連絡網の確認と召集時間の確認
11月3日	火災避難 通報 消火	利用者 職員 保護者	4 4 0	18:40	いぶき	地震発生後に台所のガスコンロから出火	各部屋より避難。連絡網で職員・保護者へ連絡招集した。保護者と地震発生時の対応を確認した。119番通報は世話人が行った	社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と召集時間の確認。地震の注意・予知情報・警戒宣言発令時の対応の確認。水消火器を使った消火訓練実施
11月7日	火災避難 通報 消火	利用者 職員 保護者	4 5 3	19:15	すだち			
12月20日	火災避難 消火	利用者 職員 その他	41 14 0	12:55	食堂	食堂のコンセントより出火。発煙筒使用	火点を避け施設東側より避難するよう指導した 抜き打ちで実施	予知なしに実施。避難経路の的確な指示を出す。火点に近寄させない。第1次避難場所をサステップ
1月16日	地震避難	利用者 職員 その他	42 15 1	13:15		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した	人員点呼で返事をしっかりさせる 地震鎮静後に避難する 落下物を意識させる
2月19日	地震避難	利用者 職員 その他	35 10 0	8:50		朝の会の時に地震が発生	天井の蛍光灯や窓ガラスの下を避けて身を伏せるようにした	訓練棟、更衣室と利用者が散在している時の避難指示・方法の確認
3月22日	大雨避難	利用者 職員 保護者	41 16 34	15:50		浜松市から大雨による避難準備情報(高齢者等避難開始)が発令された	荷物をまとめて、帰宅準備を行い、食堂で待機 保護者会連絡網を使って迎えを要請	保護者会連絡網を使って、引き渡し訓練を実施。連絡網の確認 緊急時の利用者、職員の行動確認

## 8. 家庭との連携

家庭との連携を密にするため、次の様な内容で、保護者と相互に連絡を取り合って利用者の支援にあたるよう努めた。

項目	期間	内容
個別面談	随 時	状況に応じ随時個別に面談し、相談にのるよう努めた。
モニタリング	生活介護 9,3月 就労継続(B) 9,3月	個別に時間設定をし、保護者同席により個別支援計画に基づいた目標を評価し、必要に応じて見直し又は、変更を実施し、施設での作業や生活の様子、また家庭生活等の情報交換も行った。
連絡帳	随 時	連絡帳により、家庭との連絡を密にするよう努めた。
授産所通信等	毎月1回 他 随 時	「授産所通信」を発行し、月の予定等を伝えた。行事や会合等の事務連絡を随時行った。
保護者会		4月は総会を行い、5、7、9、12、1、3月に定例役員会を、4月に臨時役員会を実施した。その他、授産所行事への協力として7月に納涼祭(35人)、9月に慰安旅行(16人)、12月にもちつき大会・大掃除(25人)の外、ふれあいコンサートや、スポーツ大会等へも参加した。

## 9. 地域交流

### (1) ボランティアの受け入れ

#### ア、絵手紙教室

サンステップ地域交流スペースの事業として、「絵手紙の町浜松」を育てる会代表の太田浩一様を講師に招いて絵手紙教室を実施した。

月	回数	延べ人数	参加者(講師)	内 容
5	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	野菜をかく
6	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	梅雨見舞いをかく
7	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	暑中見舞いをかく
9	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	秋の花をかく・お月見をかく
10	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	秋の果物をかく
12	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	年賀状をかく
2	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	ひな祭りをかく
3	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	春の花をかく
計	8	16人		

※講師は有償ボランティア

### (2) 実習生徒の受け入れ

実施期間	学校名	参加者	人数
6月14日～6月21日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1人
10月11日～10月17日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1人
1月24日～1月25日の2日間	県立浜北特別支援学校	高等部1年	1人
1月24日～1月26日の3日間	県立浜北特別支援学校	高等部1年	1人

(3) 体験実習

ア、実習

実習期間	対象者	内容	人数
6月27日～6月28日	就労継続支援B型希望者	作業実習	1人
3月26日～3月28日	就労継続支援B型希望者	作業実習	1人

(4) 作業実習の受け入れ

担任の引率によって、下記の発達支援学級の生徒の作業実習を受け入れた。

ア、浜松市立浜北北部中学校発達支援学級生徒

月	回数	延べ人数	内容
6	2	10人	電装部品の組立
7	2	8人	〃
10	2	7人	〃
11	2	6人	〃
計	8	31人	

(5) 体験学習等の受け入れ

総合的な学習の時間における体験学習の場として受け入れた。

職場体験学習

期間	学校名	延べ人数	内容
9月13、14日	浜松市立八幡中学校発達支援学級	8人	作業実習
10月17、18日	浜松市立北浜中学校発達支援学級	4人	作業実習
11月9、10日	浜松市立南部中学校発達支援学級	8人	作業補助
11月22日	浜松市立三方原中学校発達支援学級	4人	作業実習
12月6、7日	浜北特別支援学校中等部	6人	作業実習

(6) 単位実習、職員研修等の受け入れ

社会福祉援助技術現場実習

実施期間	学校名	人数
7月3日～7月18日	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2年生1人
7月20日～8月4日	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2年生1人
8月21日～9月5日	浜松学院大学子どもコミュニケーション学科	3年生1人

(7) 地域奉仕活動

12月9日の障害者の日にちなみ、近隣の環境整備に協力して奉仕作業を実施した。

実施日	事業名	参加者	内容
12月12日	地域奉仕活動	利用者40人 職員11人	金原用水沿いの除草及び施設南側の市道の除草作業を実施した。

10. 各種会議

所内会議を下記のとおり実施した。

会議	実施(曜)日	会議	実施(曜)日
職員打ち合わせ会	毎朝	支援部会議	第四以外の水曜日
職員会議	第四水曜日	ケース会議	第四以外の水曜日



## 1 1. 職員研修

以下の研修に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月13日	浜松市児童・障害部会施設長会	浜松市	浜松市社会福祉施設協議会	施設長 1
4月14日	監事監査研修会	静岡市	静岡県社会福祉協議会	施設長 1 監事 2
5月29日	就労継続支援B型事業所意見交換会	浜松市	浜松市	施設長 1
6月 9日	社福法人指導監査実施説明会	浜松市	浜松市	施設長 1 支援員 1
6月 7日	簿記入門講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員 1
6月13～14日	甲種防火管理者新規講習	浜松市	浜松市消防署	支援員 1
6月17日	実習指導者フォローアップ相談会	静岡市	静岡県社会福祉士会	支援員 1
6月23日	西部施設連絡会 6月研修会	袋井市	西部施設連絡会	支援員 1
7月4～5日	全国知的障害関係施設長等会議	東京都	日本知的障害者福祉協会	サビ管 1
7月18～17日	施設事務職員経理応用講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員 1
7月25日	西部施設連絡会 7月研修会	菊川市	西部施設連絡会	支援員 1
8月21日	精神障がいを理解するための研修	浜松市	浜松市精神保健福祉センター	支援員 1
8月22日	障害部会 行政との連絡会	浜松市	浜松市社会福祉施設協議会	施設長 1
8月25日	安全運転管理者講習会	浜松市	安全運転管理協会	支援員 1
9月15日	予算管理基礎講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員 1
9月20日	西部施設連絡会 9月研修会	浜松市	西部施設連絡会	支援員 1
9月20日	障害者スポーツ講座	静岡市	県知的障害者福祉協会	支援員 1
10月4, 23日	障害者スポーツ講座	静岡市	県知的障害者福祉協会	支援員 1
10月12, 27日	感染症予防講習会	静岡市	県社会就労センター	施設長 1
10月19日	福祉職員キャリアパス対応 障害研修課程 初任者コース	浜松市	県社会福祉協議会	支援員 1
11月 1日	社会福祉法人 運営管理研修会	静岡市	静岡県社会福祉協議会	理事長 1 施設長 1
11月 9日	年末調整セミナー	名古屋市	応研 (株)	支援員 1
11月15～16日	県知協生産活動・就労支援部会研修 集会	御殿場市	県知的障害者福祉協会	施設長 1 支援員 1
11月16～17日	福祉職員キャリアパス対応 障害研修課程 初任者コース	浜松市	県社会福祉協議会	支援員 1
11月28日	フォローアップセミナー	静岡市	県社会福祉協議会	支援員 1
12月 8日	障害者の集い 神谷基金障がい者自 立支援活動奨励事業表彰式	静岡市	県社会福祉協議会	施設長 1 支援員 1
12月11日	浜北区自立支援連絡会 意見交換会	浜松市	浜北区自立支援連絡会	支援員 1
12月12～13日	日中活動支援部会全国大会	東京都	日本知的障害者社会福祉協会	支援員 1
2月 9日	安全運転管理者セミナー	浜松市	安全運転協会	支援員 1
3月 6日	浜松市児童・障害者部会職員研修	浜松市	浜松市社会福祉施設協議会	サビ管 1
3月 7日	就労支援フォローアップ研修	浜松市	浜松市障害福祉課	支援員 1
3月23日	事業者説明会	浜松市	浜松市	支援員 1

1 2. 利用者の状況

(1) 入退所状況 (H29/4.1~H30/3.31)

(在籍人数は1日現在、単位:人)

区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現員	男	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29
	女	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
在籍	計	43	43	43	43	43	43	43	42	42	42	42	42

(註1) ・29年10月に男子1名が他施設利用のため退所

・30年3月に男子1名が他施設利用のため退所したが、末日まで在籍したため減数処理をしていない

(2) 利用者の年齢

平成30年3月31日現在、単位:人

年 令	男 子	女 子	計
15~19歳	0	0	0
20~29歳	9	8	17
30~39歳	8	1	9
40~49歳	9	3	12
50歳以上	3	1	4
計	29	13	42

平均年齢 男子 36.86歳 女子 32.46歳 全体 35.5歳

(3) 入所期間

平成30年3月31日現在、単位:人

期 間	男	女	計
1年未満	0	0	0
1年以上~3年未満	2	1	3
3年以上~5年未満	4	3	7
5年以上~7年未満	5	2	7
7年以上~9年未満	2	0	2
9年以上~11年未満	2	0	2
11年以上~13年未満	3	2	5
13年以上~15年未満	0	0	0
15年以上~17年未満	2	1	3
17年以上~19年未満	2	0	2
19年以上~21年未満	0	1	1
21年以上	7	3	10
計	29	13	42

平均入所期間 男子 13.8年 女子 12.2年 全体 13.3年

## (4) 入所直前の状況 (単位:人)

区 分	男	女	計
特別支援学校等	20	8	28
作業学級、作業所等	0	0	0
児童、成人施設	4	3	7
就労、家業の手伝い、在宅	5	2	7
計	29	13	42

(註) 就職経験者は、男子5人 女子1人 計6人である。

## (5) 通所方法 (単位:人)

区 分	通所バス	電 車	自転車	バス	徒 歩	自家用車	計
男	6	13	0	3	3	9	34
女	4	5	1	0	0	4	14
計	10	18	1	3	3	13	48

(註) 重複利用者を含む

## (6) 手帳の所持

## ア 療育手帳

(単位:人)

区 分	A	B	なし	計
男 子	21	8	0	29
女 子	10	3	0	13
計	31	11	0	42

## イ 身体障害者手帳

(単位:人)

区 分	1級	2級	3級	4級	6級	計
男 子	0	1	2	0	1	4
女 子	0	0	1	1	0	2
計	0	1	3	1	1	6

## ウ 障害福祉サービス受給者証

(単位:人)

区 分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男 子	4	0	4	8	8	4	1	29
女 子	1	0	2	3	6	1	0	13
計	5	0	6	11	14	5	1	42

## (7) 心身障害の併有状況

(単位:人)

区 分	男 子	女 子	計
四肢体幹機能に問題のある人	4	2	6
てんかん治療を受けている人	7	3	10
現在精神神経科に通院し投薬を受けている人	7	0	7
情緒不安定・その他特異な行動のある人	3	3	6
自閉症(自閉症 <sup>※</sup> ・トラウマ障害)の診断がある人	9	4	13
言語に問題のある人	14	8	22
視力に問題のある人	6	6	12
聴力に問題のある人	1	0	1
ダウン症	4	3	7
計	55	29	84

(註) 重複障害を含む

### Ⅲ. 指定障害福祉サービス(多機能型)事業所サンステップ事業報告

#### 1. 概況

多機能型事業所として就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業を実施した。

各事業の利用状況は、就労移行(定員10人)では、4月に1人が入所して6人の利用となったが、8月に1人が退所しサンステップの就労継続Bに異動したので、再び5人となった。就労継続B(定員25人)では、当初27人でスタートしたが、9月からは1人増の28人が利用している。H28年度は、例年に比べインフルエンザが流行ったが、予防対策の効果があつたのか利用者たちは概ね健康に過ごしていて、出席率は97.8%と高かつた。

生産活動については、自動車や農機具関連の部品及びガスメーターの部品の下請け生産が年度当初予想より1割ほど多い状況で推移した。そのため、就労移行では約2,422千円の収入があり、一人平均工賃は月額25,750円を支給、就労継続Bでは約14,999千円の収入があり、一人平均工賃は月額25,958千円を支給した。

施設整備では、製品等の運搬に使用する車両が購入後15年を経過していたので更新した。

一般就労への移行については、ここ数年の課題であるが今年度も実績なしに終わった。就労移行を希望する利用者がほとんどいないという現状では解決策はなかなか見つからないが、引き続き一般就労の可能性のある利用者への対応に努める。

#### 2. 生活支援

作業班を中心として担当制を設け、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を実施した。所生会活動を通して自主性と協調性を培い、各種の行事を通して集団生活のルールを学び、社会適応能力を高めた。

##### (1) 所生会活動

所生会は毎月末の木曜日に行い、月毎に、司会・出席・衛生・ごみ・戸締まり・花壇の水やり・炊事・トイレのスリッパを揃える係等、また誕生会のプレゼント・お祝いの言葉等の係について、利用者の希望をとって分担を決め、自主的、積極的に自分の係に取り組んだ。

月	活 動 内 容
4	今年度の所生会活動について話し合った。
5	係活動の反省と行事の内容について確認した。(所生会の参加方法についてなど)
6	係活動の反省と行事の内容を確認した。
7	納涼祭でカラオケに参加する人を希望者の中から選考した。
8	係活動の反省と行事の内容を確認した。
9	係活動の反省と行事の内容、慰安旅行について確認した。
10	係活動の反省と行事の内容を確認した。
11	係活動の反省と行事の内容を確認した。
12	係活動の反省と行事の内容を確認した。
1	係活動の反省と行事の内容を確認した。
2	係活動の反省と行事の内容を確認した。
3	一年間の反省と来年度の所生会、誕生会用プレゼントについて話し合った。

## (2) 実施行事

次のとおり、利用者のレクリエーションを中心に行事を実施した。各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし社会性の向上に努めた。

実施日	行事	場所	参加者	内容
4月3日	開所記念式	サンステップ	利用者 33人	二橋理事長をお迎えし、開所記念式を行った。
4月6日	お花見	花川、奥山公園 大河ドラマ館	利用者 33人	花川、奥山公園で桜見物をし、大河ドラマ館“おんな城主直虎”を見学し、買い物をして楽しんだ。
5月1日	ハイキング	小笠山運動公園・法多山	利用者 31人	小笠山運動公園でグループごとに分かれてハイキングをし、帰りに法多山に寄り買い物をして楽しんだ。
6月30日	浜北合同スポーツ交流会	浜北グリーンアリーナ	利用者 33人	浜北区内の7施設の交流の場、協調性を養う場とし積極的に取り組んだ。
7月29日	納涼祭	たちばな授産所	利用者 32人 来賓外 159人 保護者 23人	授産所と共同で夕方の4時から6時までの2時間、歌や踊り、模擬店、そして歌謡ショーを行い、来賓や近隣の人達と楽しいひと時を過ごした。
9月1日	総合防災訓練	サンステップ	利用者 32人	警戒宣言発令を想定し、保護者へは連絡網による訓練を実施した。
9月23日	鉄板焼き大会	日本ロック本社	利用者 31人 保護者 19人	日本ロック様のご厚意で、鉄板焼き大会に招待された。
9月28～29日	慰安旅行	山梨・長野方面	利用者 29人 保護者 15人	1日目は、「かんでんばばガーデン」の工場見学と諏訪大社を参拝し、夜は「八ヶ岳ロイヤルホテル」で宴会を開いた。2日目はシャトレゼ白州工場や信玄餅桔梗屋等を見学し、たくさんの土産等を買って楽しんだ。
11月12日	ふれあい広場	浜北グリーンアリーナ	利用者 28人 保護者 16人	会場にて、保護者の協力を得ながら食品・物品等の販売を行った。
12月3日	地域防災訓練	サンステップ	利用者 6人	各地域で行われる防災訓練に保護者と一緒に参加するよう要請した。
12月11日	地域奉仕作業	サンステップ 周辺	利用者 32人	金原用水沿いの草刈りと施設敷地内等の除草作業を行った。
12月15日	もちつき大会 大掃除	たちばな授産所 サンステップ	利用者 32人 保護者 20人	授産所と合同で利用者の殆どが餅つきを体験し、来賓や保護者と共につきたての餅と豚汁を会食した。その後、一年の煤払いとして施設内の大掃除をした。
12月22日	クリスマス会	サンステップ	利用者 33人	自分でデコレーションしたケーキを食べて楽しい時間を過ごした。
12月28日	慰労会	サンステップ	利用者 30人	1年間の労をねぎらってゲーム等を楽しんだ後、少し奮発した昼食会を開いた。
1月5日	新年会	サンステップ	利用者 31人	仕事始の式を行い、昼食は各自で希望を取った“お祝い弁当”を食べ、利用者さんに新しい年の抱負を述べてもらった。
2月2日	豆まき会	サンステップ	利用者 32人	簡単なゲームを行った後、年男・年女の利用者さんによる豆まきし、一年の邪気払いと無病息災を祈った。
3月16日	イチゴ狩り	イチゴ農園「Shimonta」	利用者 32人	東区にあるイチゴ農園「Shimonta」でイチゴ狩りをし、たくさんお土産を買って楽しんだ。

### 3. 作業活動

協力企業から受託した作業を就労移行支援、就労継続支援B型の作業班で分担、生産した。

各班とも取引業者との信頼関係の強化に努め、治工具の改良考案、作業方法の改善、作業室の整備等によって生産性の向上も図りつつ支給工賃の確保増額に努めた。

就労移行支援班では、能力の伸長を図るとともに製品の品質や生産力の向上が、就労に必要であることを理解させ、品質管理・納期の厳守の徹底を図った。火・金は作業時間を30分延長し、一般就労への自覚を促した。また、実習等にも積極的に参加した。

就労継続支援B型班は、福祉的就労の場として、5Sに取り組み工賃のアップを目指した。

#### (1) 作業分担と作業種目

品質を確保するために、担当する職員・利用者の異動をできるだけ少なくして、作業班体制を組んだ。

##### ア 就労移行支援

班	利用者数	作業種目	生産高 (月平均)
1	6	農機具コンバインセンサースイッチ組立	191,666
(選抜メンバー)		大五運送(箱詰め等)、物品販売等	10,244

##### イ 就労継続支援B

班	利用者数	作業種目	生産高 (月平均)
2	5	農機具コンバインセンサースイッチ組立 建設用スイッチの端子差し込み等	159,967
4・5	11	農機具用小型照光スイッチ組立 矢崎3軸アッシー	642,791
3・6	11	農機具用大型照光・操作スイッチ組立 自動車ブレーキスイッチ組立 自動車・建設用機械等のターミナル差し込み	412,119
(選抜メンバー)		大五運送(箱詰め等)、物品販売等	35,051

#### (2) 生産活動業者別収入状況

##### ア 就労移行支援

(単位:円)

月	日本ロック	大五運送	物品販売等	合計
4	164,355			164,355
5	224,151			224,151
6	270,567			270,567
7	241,564			241,564
8	213,493	3,840		217,333
9	186,335	3,000		189,335
10	195,037	19,993		215,030
11	176,913	4,975	37,100	218,988
12	142,790	14,515		157,305
1	136,491	13,800		150,291
2	168,474	19,480	1,235	189,189
3	179,818	4,990		184,808
合計	2,299,988	84,593	38,335	2,422,916

## イ 就労継続支援B

(単位：円)

月	日本ロック	矢崎エナジー	大五運送	物品販売等	合計
4	949,530	222,751		43,600	1,215,881
5	970,794	193,111		30,000	1,193,905
6	1,103,903	262,617		34,000	1,400,520
7	1,110,917	251,929		40,000	1,402,846
8	905,740	182,419	3,840	15,250	1,107,249
9	988,991	259,335	3,000		1,251,326
10	1,082,877	212,565	19,992	65,860	1,381,294
11	1,027,312	159,307	4,975	53,850	1,245,444
12	915,676	144,026	14,515	22,820	1,097,037
1	994,869	90,306	13,800	6,300	1,105,275
2	990,544	197,285	19,480	7,500	1,214,809
3	1,168,136	193,581	4,990	16,840	1,383,547
合計	12,209,289	2,369,232	84,592	336,020	14,999,133

## (3) 月別作業収入と工賃支給状況

## ア 就労移行支援

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	164,355	126,020	23,230	17,460	21,000	21	91.0
	5	224,151	125,970	22,890	18,510	21,000	21	93.0
	6	270,567	126,030	22,740	18,510	21,000	22	104.0
	7	241,564	126,220	22,750	18,870	21,000	22	103.0
	8	217,333	138,000	26,280	16,280	23,000	20	93.0
	9	189,335	114,950	25,580	19,250	23,000	22	90.0
	10	215,030	115,070	26,790	16,780	23,000	22	110.0
	11	218,988	115,020	26,770	15,260	23,000	22	103.0
	12	157,305	125,120	28,570	17,610	25,000	20	85.0
	1	150,291	125,010	30,330	14,930	25,000	20	88.5
	2	189,189	124,930	32,170	15,240	25,000	20	101.5
	3	184,808	125,030	31,220	19,990	25,000	22	108.5
	小計	2,422,916	1,487,370				254	1,170.5
	8		賞与 60,000	11,700	7,400	10,000		
	12		賞与 50,000	12,100	7,000	10,000		
	3		一時金 65,000	17,500	6,400	13,000		
	小計		175,000					
合計	2,422,916	1,662,370			309,000	254	1,170.5	

(註) 年間の1人当たり平均工賃額は賞与を含めると309,000円であり、月額割にすると平均25,750円であった。

## イ 就労継続支援B

(単位:円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	実働時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	1,215,881	567,010	29,150	13,220	21,000	21	90.5
	5	1,193,905	567,000	28,500	13,210	21,000	21	92.0
	6	1,400,520	567,000	29,570	13,160	21,000	22	101.0
	7	1,402,846	567,010	29,560	13,170	21,000	22	102.5
	8	1,107,249	621,000	32,980	14,490	23,000	20	92.0
	9	1,251,326	644,000	31,620	14,880	23,000	22	89.0
	10	1,381,294	644,000	31,500	14,740	23,000	22	106.0
	11	1,245,444	644,000	31,630	14,600	23,000	22	100.5
	12	1,097,037	700,000	34,800	14,230	25,000	20	80.5
	1	1,105,275	700,010	36,110	14,730	25,000	20	90.5
	2	1,214,809	728,000	38,370	11,040	26,000	20	94.0
	3	1,383,547	728,000	37,120	15,430	26,000	22	104.5
	小計	14,999,133	7,677,030				254	1,143.0
	8		賞与 270,000	16,500	4,300	10,000		
	12		賞与 280,000	16,000	4,400	10,000		
	3		一時金 378,000	22,300	5,000	13,500		
	小計		928,000					
合計		14,999,133	8,605,030			311,500	254	1,143.0

(註) 年間の1人当たり平均工賃額は賞与を含めると311,500円であり、月額割にすると平均25,958円であった。

## (4) 就労支援会計収支状況

(単位:円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
1. 利用者工賃等配分額	10,267,400	1. 就労支援事業収入	17,422,049
(1) 利用者工賃	9,164,400	(1) 受託収入	17,047,694
(2) 利用者賞与	1,103,000	(2) 物品販売等	374,355
		(3) その他の事業収入	0
2. 必要経費	7,152,510		
3. 積立金積立	0		
(1) 工賃変動積立預金	0		
(2) 設備等整備積立金	0		
4. 次年度繰越金	2,139		
合 計	17,422,049	合 計	17,422,049

## (5) 配分率、経费率及び繰越率

(単位:円、%)

総収入	利用者工賃等配分額	必要経費	次年度繰越金	配分率	経费率
17,422,049	10,267,400	7,152,510	2,139	58.93	41.05



#### 4. 体育実施状況

利用者の健康な生活を維持し、体力の維持・強化のために朝礼後の体操や、作業中のストレッチ、定時のジョギング及び体育的行事（野外スポーツ、水泳）を計画的に実施した。

##### (1) 体力作りとストレッチ

項目	日時	内容
ラジオ体操	8:40～8:45 (毎朝)	ラジオ体操第一を始業前の準備運動を兼ねて全員で行った。
ストレッチ	10:25～10:30 (毎日)	それぞれの作業の持ち場で業間体操として手・足・首・腰・胴を中心に20秒間同じ姿勢を保つストレッチを実施した。
体操	15:15～15:45 B型(月～金) 就労移行 (月・水)	ジョギングや歩行訓練を中心としたグループと機能訓練を行うグループに分かれ、それぞれの心身の状況に合わせた体力づくりを実施した。また、雨天時は地域交流スペースでストレッチや音楽に合わせてダンス(踊り)等を行った。

##### (2) 体育的行事

項目	日時	内容
野外スポーツ	13:00～15:30 (年5回)	バス等で森林公園まで移動し3班に分けウォーキングや散策を実施した。(11, 12, 1, 2, 3月)
水泳訓練	13:00～15:30 (年6回)	浜松市浜北温水プールを利用し、水中歩行と水泳指導(ペンギン村のスタッフによる指導)を実施した。 (4, 5, 6, 7, 9, 10月)

#### 5. 保健衛生指導

##### (1) 健康管理

毎月、身長・体重・血圧・体脂肪の測定を実施して日常の健康管理の目安とし、昼食後の歯磨き、作業後のうがい・手洗いを毎日の習慣とした。

定期健康診断は春に血液・尿検査、秋にX線・尿検査を実施し、嘱託医による内科検診を年3回実施した。保護者には健診結果を通知し、結果に異常のあった利用者については、保護者に掛かりつけの医師による再診を助言した。

10月には歯科健診を行い、虫歯や歯周病のある人には通院治療を助言した。

##### ア 健診実施状況

区分	実施日	人数	内容
血液検査	4月26日	32人	貧血、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸
尿検査	4月26日 10月6日	32人 32人	蛋白、糖、潜血
X線検査	9月19日	32人	胸部X線間接撮影
嘱託医による 内科検診	4月19日 8月23日 12月13日	32人 31人 33人	問診、聴打診、血圧
歯科健診	10月5日	32人	浜松市による施設歯科健康診査

##### イ 健康診断結果 (単位:人)

区分	男	女	計
血球計数	10	2	12
糖代謝	0	0	0
肝機能検査	4	1	5
脂質代謝	8	2	10
腎機能	5	0	5
尿定性検査	1	1	2
計	28	6	34

※重複あり

(2) 衛生指導

利用者、職員全員で毎日終業前の15分間で施設内全般の清掃を実施し、清潔な環境保持努めた。また、作業後やトイレ使用后及び給食前に手洗いを励行し、毎日の習慣とするよう心掛けた。

(3) 感染症予防

インフルエンザ・ノロウィルスの感染予防対策として、登所時及び昼食前に手・指の消毒を行った。11月～3月までは検温を実施し、咳をする利用者にはマスクの着用を促した。

(4) 出欠状況

出欠状況は利用者の心身の状況のバロメーターであり、データを取りながら家庭と協力して出席率を高めるよう努めた。

ア 月別出欠状況

【就労移行支援】

(単位：日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延日数	欠席延日数	出席延日数	出席率
4	6	21	126	3	123	97.61
5	6	21	126	2	124	98.41
6	6	22	132	1	131	99.24
7	6	22	132	1	131	99.24
8	6	20	120	7	113	94.16
9	5	22	110	10	100	90.90
10	5	22	110	12	98	89.09
11	5	22	110	11	99	90.00
12	5	20	100	3	97	97.00
1	6	20	105	7	98	93.33
2	5	20	100	12	88	88.00
3	5	22	110	10	100	90.90
計	66	254	1,381	79	1,302	94.28

(註)1月は、就労アセスメント利用者1人、5日間を含む。

【就労継続支援B型】

(単位：日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延日数	欠席延日数	出席延日数	出席率
4	27	21	567	7	560	98.77
5	27	21	567	10	557	98.24
6	27	22	594	4	590	99.33
7	27	22	594	10	584	98.32
8	27	20	540	5	535	99.07
9	28	22	616	9	607	98.54
10	28	22	616	3	613	99.51
11	28	22	616	7	609	98.86
12	28	20	560	2	558	99.64
1	28	20	560	11	549	98.04
2	28	20	560	27	533	95.18
3	28	22	616	9	607	98.54
計	331	254	7,006	104	6,902	98.52

イ 月別皆勤者の状況

年間を通じての皆勤者（無欠席・無遅刻・無早退）は男子4人で、女子は0人。

精勤者（欠席、遅刻、早退合わせて3回以内）は男子2人、女子7人の計9人であった。

【就労移行支援】

（単位：人、％）

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率
4	6	4	66.67	10	5	2	40.00
5	6	4	66.67	11	5	1	20.00
6	6	5	83.33	12	5	3	60.00
7	6	5	83.33	1	6	4	66.67
8	6	4	66.67	2	5	3	60.00
9	5	0	0.00	3	5	3	60.00
				平均	5.50	3.17	57.58

【就労継続支援B】

（単位：人、％）

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率
4	27	23	85.19	10	28	25	89.29
5	27	19	70.37	11	28	24	85.71
6	27	25	92.59	12	28	26	92.86
7	27	24	88.89	1	28	22	78.57
8	27	23	85.19	2	28	22	78.57
9	28	24	85.71	3	28	22	78.57
				平均	27.58	23.25	84.29

6. 交通安全指導

外部講師として、おうちコープ職員や浜北署の交通安全指導員に協力をいただき交通安全に関する講話や実際の道路上での実地指導を受けた。また、指導員などによる実地指導も行い、より実際に即した交通安全指導を目指した。

実施日	指導者	内容
5月2日	当施設職員	利用者の交通安全への意識向上のためDVD【道路の歩き方・横断歩道の渡り方】の視聴後、芝本駅までの歩行訓練を実施し、連休中の事故防止に努めた。
8月11日	おうちコープ職員	夏季休暇を迎えるに当たり、おうちコープ職員による交通安全教室を開いた。①車両の死角の確認（乗車体験）②シートベルトの重要性についてと交通ルールクイズを行いながら交通安全に対する意識を高め、休暇中の事故防止を図った。
12月26日	交通安全指導員	年末年始の休暇を迎えるに当たり、浜北警察署の交通安全指導員から指導（道路の歩き方・横断歩道の渡り方）を受けることで、利用者の事故防止の意識を高め、休暇中の交通安全に努めた。

## 7. 災害防止対策

火災と地震を交互に想定し、防災訓練を毎月実施した。通報訓練、帰宅訓練、地域防災訓練への家族ぐるみの参加の呼びかけ等も行い、防災指導に努めた。また、常に防災設備の自主点検を実施し、防災組織、緊急連絡網の確認を行い、連絡網を使った連絡訓練も実施した。

月別の防災訓練の実施状況は次表のとおりである。

### 【防災訓練実施状況】

実施日	訓練種目	災害発生の想定及び対応					
		参加人数	時刻	火点	状況	避難経路・手順等	留意点
4月25日	火災通報	利用者 職員 その他	10	17:00		利用者帰宅後、各職員の受け持ち部所より出火したことを想定し、「火災発生」の発声及び施設長への報告通報訓練を実施した。一斉放送による避難誘導の指示の確認と消火班の行動確認等を実施した。また、消火設備の確認も行った。	
5月25日	地震避難	利用者 職員 その他	33 11 4	11:00		作業時間中に地震発生 身近な机や作業台の下に身を隠した。ヘルメットを着用し避難した。	効果音が地震と理解させる。大きな声で避難誘導の指示がなされたかの確認。
6月22日	火災避難	利用者 職員 その他	32 9 5	11:00	作業室3	作業中に地震が発生し半田ごてが倒れてアルコールに引火 火点をさけ、施設中央口から外へ出た。	職員の指示が的確に出されているか、避難経路が確保されているかを確認する。歩行困難者の介助の確認。
7月26日	大雨避難 帰宅訓練	利用者 職員 その他	33 10 4	9:00		作業開始時に大雨に対する警報が発令 大雨警報が発令されたことを伝え、食堂に全員避難。状況を確認し、保護者への引き渡し訓練を行った。	利用者の居場所や行動に注意し、荷物の持ち出しがスムーズに出来るよう、利用者の見守りを行う。
8月22日	火災通報 避難	利用者 職員 その他	31 10 4	11:00	食堂	食堂のコンセントに埃がたまり出火 火点を避け施設東側より避難するよう指導した。	避難経路の確認。 職員連絡網の確認と通報・連絡の確認。
9月1日	総合 防災 訓練	利用者 職員 その他	31 9 4	9:00		予知情報のない突発的な大規模地震発生 非常災害時避難誘導要領の手順に従って、保護者への直接引き渡し訓練を実施した。	総合防災訓練の内容に従って行動する。
10月26日	地震 避難	利用者 職員 その他	30 10 4	11:40		作業時間中に地震発生 身近な机や作業台の下に身を隠した。ヘルメットを着用し避難した。	効果音が地震と理解させる。大きな声で避難誘導の指示がなされたかの確認。
11月1日	地震 火災 通報 消火	利用者 職員 その他	31 9 4	10:20	食堂	作業時間中に地震が発生し、食堂より出火 安全な場所に身を伏し地震の収まるのを待って落下物に注意し、火元の食堂を避けて非常口から避難を行った。	社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と召集時間の確認。消火訓練も行った。
11月30日	不審者 対応	利用者 職員 その他	9	17:00	職員室	相模原市の施設殺傷事件を受けて 不審者対応マニュアル・不審者対策フローの周知、確認。	不審者対策の基本は来訪者への声掛けの習慣化。緊急時の合言葉「メーデー」。
12月21日	火災 通報 避難	利用者 職員 その他	32 9 4	11:45	食堂	食堂のコンセントに埃がたまり出火 火点を避け施設東側より避難するよう指導した。	避難経路の的確な指示を出す。火点に近寄らない。消火訓練と職員の通報装置の使い方を確認した。
1月24日	地震 避難	利用者 職員 その他	32 10 3	13:40		作業時間中に地震発生 身近な机や作業台の下に身を隠した。ヘルメットを着用し避難した。	落下物や転倒危険箇所のチェックをおこなう。冬場の避難時に上着を着ることを確認した。
2月21日	火災 避難	利用者 職員 その他	26 9 3	10:05	建物南側の畑	野火による延焼で建物南側に接近 中央廊下を通過して玄関前に避難して、津島神社に移動した。	残留者がいないことを確認する。車椅子利用者の安全介助。水消火器による消火訓練を行った。
3月22日	地震 避難	利用者 職員 その他	32 10 3	9:30		作業時間中に地震発生 身近な机や作業台の下に身を隠した。ヘルメットを着用し避難した。	職員の避難指示が的確に出されているか、ヘルメットの着用が徹底されているか確認した。

## 8. 家庭との連携

家庭との連携を密にするため、次の内容で保護者と相互に連絡を取り合って利用者の支援にあたるよう努めた。

項目	期間	内容
個別面談	随時	状況に応じ随時個別に面談し、相談にのるよう努めた。
モニタリング	就労移行 6, 9, 12, 3月 就労継続B 9, 3月	個別に時間設定をし、保護者同席により個別支援計画に基づいた目標を評価し、必要に応じて見直し又は、変更を実施し、施設での作業や生活の様子、また家庭生活等の情報交換も行った。
連絡帳	随時	必要に応じて連絡帳により、家庭との連絡を密にするよう努めた。
サンステップ 通信等	毎月1回 他随時	「サンステップ通信」を発行し、月の予定等を伝えた。また、行事や会合等の事務連絡を随時行った。
保護者会		4月は定例総会を行い、5、7、9、12、1、3月に定例役員会、4月に臨時の役員会をそれぞれ実施した。その他、施設行事への協力として納涼祭(45人)、慰安旅行(31人)、もちつき大会・大掃除(45人)の外、ふれあい広場各種スポーツ大会等へも参加した。

## 9. 地域交流

### (1) ボランティアの受け入れ

#### ア 水泳訓練

4、5、6、7、9、10月の各月1回2名のペンギン村スタッフを水泳訓練補助員として受け入れた。(※ペンギン村のスタッフは、有償ボランティア)

#### イ 絵手紙教室(地域交流スペース)

月	回数	延べ人数	参加者(講師)	内容
4	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	こどもの日を描く
6	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	梅雨見舞いを描く
9	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	秋の花を描く
10	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	秋の果物を描く
11	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	木の葉を描く
1	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	節分を描く
2	1	2人	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	雛祭りを描く
計	7	14人		

(※講師は、有償ボランティア)

### (2) 実習生徒の受け入れ

実施期間	学校名	参加者	人数
6月13日～6月21日の7日間	県立天竜特別支援学校	高等部2年	1人
6月22日～6月28日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1人
10月12日～10月18日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1人
10月19日～10月25日の4日間	県立浜北特別支援学校	高等部2年	1人
1月29日～2月2日の5日間	県立浜松特別支援学校	高等部1年	1人

## (3) 就労アセスメントの受入

実施期間	学校名	実施者	人数
1月15日～ 1月19日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1人

## (4) 体験実習

実習期間	参加者	内容	人数
7月10日～ 7月14日	一般	体験実習	1人
8月 7日	浜北特別支援学校高等部1年生	体験実習	1人

## (5) 作業実習の受け入れ

担任の引率によって、下記の発達支援学級等の生徒の作業実習を受け入れた。

## 浜松市立浜北北部中学校発達支援学級生徒

月	回数	延べ人数	内容
6	1	3人	電装部品の組立
7	1	2人	〃
10	2	5人	〃
11	1	5人	〃
計	5	15人	

## (6) 体験学習等の受け入れ

総合的な学習の時間における体験学習の場として受け入れた。

## 職場体験学習

期間	学校名	人数	内容
10月17～18日	浜松市立北浜中学校（発達支援学級）	2人	作業体験

## (7) 職員研修等の受け入れ

## 保護者の施設体験研修

実施期間	参加者	人数
11月 8日	県立浜北特別支援学校	1人
11月14日	県立浜北特別支援学校	1人
11月16日	県立浜北特別支援学校	1人

## (8) 地域奉仕活動

12月9日の障害者の日にちなみ、近隣の環境整備に協力して奉仕作業を実施した。

実施日	事業名	参加者	内容
12月11日	地域奉仕活動	利用者 32人 職員 9人	金原用水沿いの草刈り及び施設周辺の除草作業、また日頃利用している遠鉄芝本駅までのゴミ拾い。

## 10. 各種会議

施設内会議を下記のとおり実施した。

会議	実施（曜）日	会議	実施（曜）日
職員打ち合わせ	毎朝	支援部会議	第四以外の木曜日
職員会議	第四木曜日	ケース会議	第四以外の木曜日

11. 職員研修

以下の研修に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月14日	監事監査研修	静岡市	県社会福祉協議会	施設長1 監事2
4月28日	QCサークル所内発表大会	浜松市	矢崎エナジーシステム(株)	支援員1
5月22日	接遇・マナー・コミュニケーション講座（接遇マナー研修）	浜松市	県社会福祉協議会	支援員1
6月9日	社福法人施設指導監査実施説明会	浜松市	浜松市	施設長1 支援員1
	西部施設連絡会6月研修	掛川市	西部施設連絡会	支援員1
6月12日	社会福祉法人簿記入門講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
6月20・22日	経理基礎講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
6月29・30日	関東セルフ協研究大会・協議委員会	横浜市	関東セルフ	施設長1
7月18・24日	経理応用講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
7月21日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	浜松市	県社会福祉協議会	支援員1
7月25日	西部施設連絡会7月研修	菊川市	西部施設連絡会	支援員1
7月27・28日	全国セルフ協施設長会	神戸市	全国セルフ	施設長1
8月3・4日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	浜松市	県社会福祉協議会	支援員1
8月29日	老障連携研修会	浜松市	自立支援連絡会	サビ管1
9月15日	予算管理基礎講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
9月20日	西部施設連絡会9月研修	浜松市	西部施設連絡会	支援員1
9月21日	関東セルフ協職員研修	東京都	県セルフ協	支援員1
10月12・13日	全国セルフ課題別専門研修	東京都	全国セルフ協	支援員1
10月12・27日	県セルフ協感染予防対策研修	静岡市	県セルフ協	施設長1
10月31日	老障連携研修会	浜松市	自立支援連絡会	サビ管1
11月1日	経営協運営管理研修会	静岡市	経営協	理事長1 施設長1
11月2日	障害福祉サービス報酬改定要望集会	東京都	全国セルフ協	施設長1
11月9日	年末調整セミナー	名古屋市	応研(株)	支援員1
11月15・16日	生産活動・就労支援部会研究集会	御殿場市	県知協	施設長1
11月22日	年末調整等の説明会	浜松市	浜松東税務署	支援員1
1月17日	(株)日本ロック外注懇談会	浜松市	(株)日本ロック	サビ管1
1月19日	ステップアップ研修	浜松市	自立支援連絡会	サビ管1
1月22・23日	障がい者虐待防止リーダー研修会	東京都	全国セルフ協	サビ管1
1月25・26日	県知協施設長等研修会	静岡市	県知協	施設長1
2月6日	関東セルフ協研修会	東京都	関東セルフ協	施設長1
2月9日	西部施設連絡会2月研修	浜松市	西部施設連絡会	支援員1
2月15日	決算実務講座	静岡市	県社会福祉協議会	支援員1
2月22～23日	全国社会就労センター長研修会	名古屋市	全国セルフ協	施設長1
3月6日	関東セルフ協議員会	東京都	関東セルフ協	施設長1
3月7日	スキルアップ研修	浜松市	浜松市	支援員1
3月23日	事業者説明会	浜松市	浜松市	施設長1 支援員1
3月26日	就労促進事業研修	浜松市	オールしずおか	支援員1

## 12. 利用者の状況

### (1) 入退所状況 (H29/4.1~H30/3.31)

(在籍人数：1日現在、単位：人)

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現員	男	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
在籍	計	33	33	33	33	33	33	33	33	34	33	33

\* 1月の男1名は、特別支援学校から就労アセスメントのため暫定入所し男子1名は同月退所した。(期間は、5日間であった。)

\* 月末で退所した利用者については、在籍欄において減数処理をしていない。

### (2) 利用者の年齢

(平成30年3月31日現在、単位：人)

年 令	男 子	女 子	計
15～19歳	1	0	1
20～29歳	11	3	14
30～39歳	4	4	8
40～49歳	3	1	4
50歳以上	4	2	6
計	23	10	33

平均年齢 男子34.0歳、 女子38.1歳、 全体35.21歳

### (3) 入所期間

(平成30年3月31日現在、単位：人)

期 間	男	女	計
1年未満	1	0	1
1年以上～3年未満	4	1	5
3年以上～5年未満	18	9	27
5年以上～7年未満	0	0	0
7年以上～10年未満	0	0	0
10年以上～13年未満	0	0	0
13年以上～17年未満	0	0	0
17年以上～21年未満	0	0	0
21年以上～	0	0	0
計	23	10	33

平均入所期間 男子3.84年、 女子3.79年、 全体3.83年

### (4) 入所直前の状況

(単位：人)

区 分	男	女	計
特別支援学校等	17	5	22
作業学級、作業所等	1	0	1
児童、成人施設	2	4	6
就労、家業の手伝い、在宅	3	1	4
計	23	10	33

(註) 就職経験者は、 男子2人、 女子2人、 計4人である。



## (5) 通所方法

(単位：人)

区 分	通所バス	電 車	自転車	バ ス	徒 歩	自家用車	計
男	4	15	1	2	1	5	28
女	2	7	1	2	5	4	21
計	6	22	2	4	6	9	49

(註)重複利用者を含む

## (6) 手帳の所持

## ア 療育手帳

(単位：人)

区 分	A	B	なし	計
男 子	13	10	0	23
女 子	5	4	1	10
計	18	14	1	33

## イ 身体障害者手帳

(単位：人)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	6 級	計
男 子	0	2	0	1	0	3
女 子	0	0	0	2	0	2
計	0	2	0	3	0	5

## ウ 障害福祉サービス受給者証

(単位：人)

区 分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男 子	15	1	0	3	4	0	0	23
女 子	5	0	0	3	2	0	0	10
計	20	1	0	6	6	0	0	33

## (7) 心身障害の併有状況

(単位：人)

区 分	男 子	女 子	計
四肢体幹機能に問題のある人	3	2	5
てんかん治療を受けている人	3	1	4
現在精神神経科に通院し投薬を受けている人	2	4	6
情緒不安定・その他特異な行動のある人	1	3	4
言語に問題のある人	8	0	8
視力に問題のある人	7	1	8
聴力に問題のある人	1	1	2
ダウン症	5	1	6
内部（心臓、呼吸器）障害のある人	1	2	3
計	31	15	46

(註)重複障害を含む

## 13. 就労移行支援実施状況

## (1) 就職実績

- ・本年度なし

## (2) 就職者の事前支援状況

- ・本年度なし

#### IV. 指定障害福祉サービス事業所すだち事業報告

##### (1) 共同生活住居「いぶき」

利用者は、概ね健康的にグループホームでの生活を送っている。

年度当初は5人の利用だったが、8月に、家族と一緒に過ごすことを希望した人が退所し、4人のまま年度を終えた。

世話人は、5月に入って2人が入れ替わったが、4人でシフト体制をとっている。

##### ○主な行事等

###### 4月

- 1日 利用者5人 M. S、 S. S、 T. Y、 K. K、 K. K  
世話人 I. K、 H. H、 T. Y、 M. I
- 20日 K. K 誕生日 19歳
- 24日 T. Y 誕生日 73歳

###### 5月

- 1日 世話人 I. K、 H. H、 R. T、 T. N
- 6日 M. S 誕生日 55歳

###### 7月

- 7日 七夕祭り
- 11日 K. K 誕生日 31歳
- 29日 たちばな会 納涼祭参加

###### 8月

- 28日 防災訓練
- 31日 K. K 利用終了

###### 11月

- 3日 防災訓練実施
- 12日 ふれあい広場参加

###### 12月

- 15日 たちばな会 餅つき大会参加
- 24日 クリスマス会・大掃除
- 29～31日 年末休暇

###### 1月

- 1～4日 年始休暇
- 13日 S. S 誕生日 61歳

###### 2月

- 3日 節分(豆まき)
- 19日 Y. O 利用開始

###### 3月

- 3日 ひな祭り

(2) 共同生活住居「すだち」

利用者は、概ね健康的にグループホームでの生活を送っている。

6月に、両親の死亡により休日の過ごし方に課題のある利用者が退所したが、同月に新たに利用を希望する者がいて、現状4人が利用している。

世話人は、5月からは2人でシフト体制を取り支援の質の向上を図った。

設備整備の面では、屋根や外壁の塗装を行ったほか、廊下やロッカーの修繕をした。

○主な行事等

4月

1日 利用者 4人 K. K、 M. M、 Y. N、 S. O  
世話人 M. H、 T. N  
7日 M. M 誕生日 44歳

6月

12日 K. K 利用終了  
12日 H. M 利用開始

7月

7日 七夕  
29日 たちばな授産所 納涼祭参加

8月

10日 S. O 誕生日 45歳  
28日 防災訓練実施

11月

7日 防災訓練実施  
12日 ふれあい広場参加

12月

6日 H. M 誕生日歳  
15日 たちばな会 もちつき大会参加  
24日 クリスマス会  
29～31日 年末休暇

1月

1～4日 年始休暇

2月

3日 節分(豆まき)

3月

3日 ひな祭り  
29日 N. Y 誕生日 23歳

V. 社会福祉法人たちばな会 事業報告の附属明細書

「記載事項」

該当事項はありません。